
東海地区のロードレースシリーズ「iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP」開幕 シーズン本格化でハイレベルのレースが繰り広げられる

東海エリアを転戦しながら自転車ロードレースの普及とレベルアップを目指すレースシリーズ「AACA カップ」（主催：合同会社 AACA、代表：加藤康則）は、発足 11 年目となる 2024 年シリーズの第 2 戦を 3 月 17 日に実施いたしました。以下に、当日の様子を報告いたします。

全 8 カテゴリーに 232 名が出走

「AACA カップ」は iRC TIRE（井上ゴム工業）さま、株式会社キナンさまによるスポンサーのもと、今年も国営木曾三川公園 長良川サービスセンター（岐阜県海津市）を主会場として、全 10 戦を開催いたします。

同地で開催された今回第 2 戦には、8 つのレースカテゴリーに総勢 232 名が出走。各選手の体力レベルやスキル、年代、目的に応じて出走カテゴリーを選択することができ、シリーズ全体を通して自身の経験を磨きながら徐々にカテゴリーを上げて、ゆくゆくは最上位カテゴリーの 1-1 クラスへの参戦を目指す、といったことも可能になります。



メインイベントである 1-1 クラスは、前戦と同様 1 周 5km のコースを 20 周回する 100km にて、54 名の選手により争われ、ホセ・ビセンテ・トリビオ選手（マトリックスパワータグ）が第 2 戦を制しました。

この日は朝から天気が心配されましたが、風も穏やかで青空も顔を出す陽気な天気の中 1-1 クラスがスタート。レースは、序盤から逃げを狙う選手らの飛び出しと、逃がせまいとすぐさま追走を図る集団とのせめぎ合いが頻発し、集団が大きく縦長に伸びる休みどころの少ない状況が続きました。レース後半には冷たい雨が降り出し、選手らを苦しめるコンディションに。そんな中でも神谷啓人選手（まるいち）や大前翔選手（Roppongi Express）をはじめとする国内プロチーム以外の選手らによる積極的な動きも目立ち、レース最終盤まで集団は活発に動き続けました。3 周回を残すタイミングで、ホセ選手と西尾憲人選手（愛三工業レーシング）、宮崎泰史選手（キナンレーシング）の 3 名が集団から抜け出し、協調して逃げ切りを狙う形へ。そこから西尾選手と宮崎選手の意表を突く形で早めに仕掛けたホセ選手が、そのまま 2 人を引き離し見事単独でフィニッシュ。

逃げの 3 名の後は、AGROTIS Alexandros 選手（マトリックスパワータグ）と初川弘浩選手（愛三工業レーシング）が 4 位、5 位と続き、国内プロチームの選手らが強さをみせる最終リザルトとなりました。

今回の 1-1 クラスでは LIVE 配信も実施され、オンライン上での多くの視聴や応援コメントも。どんよりとした天気とは裏腹に、選手と観客、ともに賑わいをみせた第 2 戦の 1-1 クラスとなりました。



下部カテゴリーも盛況

1-1 クラスにとどまらず、そのほか下部カテゴリーでも熱い戦いが繰り広げられました。「ポストトップカテゴリー」にあたる 1-2 クラスは 40km で争われ、山口文太選手（カンピオーネ）が優勝。レースは、途中周回完了時に設けられた周回賞や、勝ち逃げを狙う選手らにより、終始活発にレースが展開させるも、大きな集団のまま最終局面に。最終コーナー手前で自ら踏み込んだ山口選手が、後続の選手を引き寄せることなく集団の先頭でフィニッシュ。見事集団スプリントを制しました。

17.5km で争われた 1-3 クラスでは小国亮二選手が、12.5km で争われた 1-4 クラスでは四方麻旺選手がそれぞれ優勝。2024 年シリーズより設けられた U15/17 クラス（30km）では、U15 を中村海斗選手、U17 を杉浦孝介選手がそれぞれ制しています。

KINAN Racing Teamによるキッズスクール、多彩な出展ブースも盛り上げに寄与

イベントホストである KINAN Racing Team のメンバーが講師を務めるキッズスクールが今回も実施されました。

また会場には、iRC TIRE 井上ゴム工業株式会社さま、hardLass コーティングの FUSION さまに、ブースを出展いただきました。井上ゴム工業さまからは、大矢英男社長をはじめとするスタッフのみなさまにご来場いただき、会場の賑わいを感じていただく機会となりました。各ブースでは今回も参加者や観戦に訪れた人々に各社製品の紹介や取り組みを PR。タイヤの試乗やコーティングサービスなども実施され、賑わいをみせました。



タイムトライアルレース含む第3戦は4月21日（日）

本シリーズ第3戦は、4月21日（日）に今回と同じく国営木曽三川公園 長良川サービスセンターにて実施します。

また、この第3戦では通常のレースカテゴリー（1-1、1-2、1-3、1-4、U15、U17）に加え、個人タイムトライアル競技を実施します。個人タイムトライアルは「自走力」が試され、各選手が持つ本来の能力を図る指標になるとともに、年代や性別に関係なく参加しやすい種目であるため、より多くの選手による参加と挑戦を期待しております。

参加費は、通常カテゴリー（1-1、1-2、1-3、1-4、U15、U17）は共通で3000円（当日エントリーは4000円）。個人タイムトライアルは4000円（当日エントリーは5000円）となります。なお、キッズカテゴリーに関しては無料にて参加が可能です。

エントリー開始は4月2日（火）で、締切は4月13日（土）となります。申込方法やその他詳細はシリーズ公式ウェブサイトをご覧ください。



最短7戦目で参加費が無料に！ iRC TIRE ブース特典

iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP のiRC TIRE ブースでは、新型クリンチャータイヤ「アスピーテプロ」をお試しいただけます。貸し出しは、タイヤ付きホイールで。そして貸し出しは試走のみならず、当日のレースでも使用可能（これは iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP のみ！）。よりリアルな状況下でお試しいただけます。このレンタルサービスは先着5名様限定。詳しくは、各戦当日にiRC TIRE ブースまで。この機会に新型アスピーテプロを体感するチャンス！

さらには、iRC TIRE ユーザーさま限定で、ご参加当日のレーススタート15分前までにiRC TIRE を装着したレースバイクとともにiRC ブースにお越しいただき、出走日数のカウントをしていただくと、7回目（最短で第7戦＝ダブルエントリーは除く）の参加費が無料に！

2024年シリーズはぜひiRC TIRE をレース出走バイクに装着して、iRC TIRE ブースへお越しください！

第2戦リザルト

・1-1

1. ホセ ビセンテ トリビオ アルコレア (マトリックスポウータグ)
2. 宮崎 泰史 (キナンレーシング)
3. 西尾 憲人 (愛三工業レーシング)
4. AGROTIS Alexandros (マトリックスポウータグ)
5. 初川 弘浩 (愛三工業レーシング)

・1-2

1. 山口 文太 (カンピオーネ)
2. 川井 知幸 (カンピオーネ)
3. 小松 定俊 (Aisan Supporters)
4. 矢田 健太郎 (MaxSpeed97)
5. 成瀬 天満 (岐阜第一)

・1-3

1. 小国 亮二 (Team ELMO)
2. 谷 誠也 (3stacks)
3. 奥村 祐太 (うどんちゆるちゆる/徒歩会)
4. 小田 豊 (カンピオーネ)
5. 紅林 幹人

・1-4

1. 四方 麻旺 (ORCA CYCLING TEAM)
2. 丸山 祐生 (ORCA CYCLING SCHOOL)
3. 黒部 史彦 (カンピオーネ)
4. 谷 誠也 (3stacks)
5. 伊藤 由都 (カンピオーネ)

・U17

1. 杉浦 孝介 (SPADE ACE)
2. 成山 愛之助 (KINAN Racing Team MIE Junior)

・U15

1. 中村 海斗 (△ミサイル)
2. 前嶋 一吹 (リープ浜松サイクリングチーム)
3. 越知 映成 (KINAN Racing Team MIE Junior)
4. 伊藤 遼 (KINAN Racing Team MIE Junior)
5. 勝寄 丈一朗 (ORCA CYCLING TEAM)

・ Kids (JCF)

1. 青井 瑛隼 (KINAN Racing Team MIE Junior)
2. 小菅 瑛都
3. 徳永 高宣 (ゴールドブラウン)
4. 石田 結衣 (TCKR)
5. 石田 隼斗 (TCKR)

・ Kids (自由)

1. 佐野 真麻 (ORCA CYCLING TEAM)
2. 前橋 明季 (KINAN Racing Team MIE Junior)
3. 花木 昂
4. 原田 夏暉
5. 酒井 玲空

以 上

iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP 概要

主催：合同会社 AACA

代表：加藤康則

WEB： <https://www.coupedeaaca.com/>



本件に関するお問い合わせ：

合同会社 AACA coupedeaaca@gmail.com

